

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

施設野菜における地上病害の発生状況と防除対策（技術情報第2号）について
（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので業務の参考としてご活用ください。

記

施設野菜においては、2月以降、降雨や曇天傾向が続いているため、灰色かび病、菌核病、べと病などの地上病害が増加傾向にある。3月28日に発表された九州北部地方の1ヶ月予報によると、引き続き降水量は平年より多いまたは平年並の予想であるため、病害の予防に努める。

1 発生状況

(1) 3月の巡回調査において、以下の病害の発生が増加傾向にあり（図1～4）、4月の発生は平年比やや多～多と予想している（表1）。

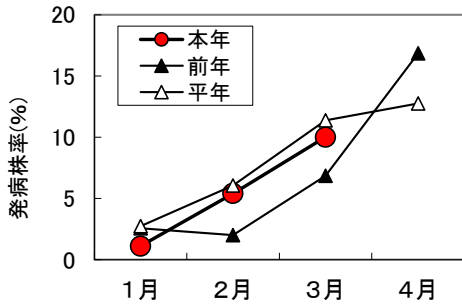


図1 トマト灰色かび病の発生推移

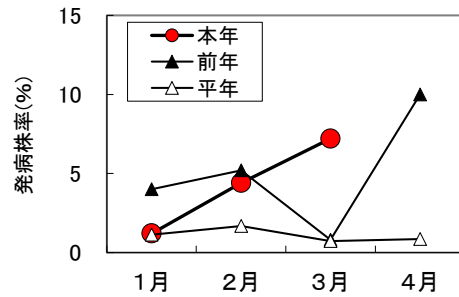


図2 ナス灰色かび病の発生推移

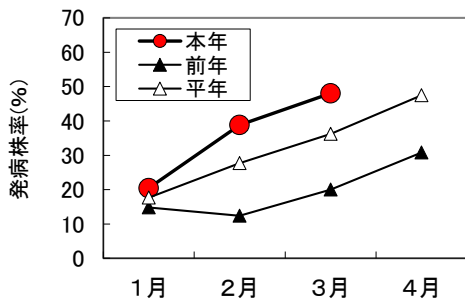


図3 ナスすすかび病の発生推移

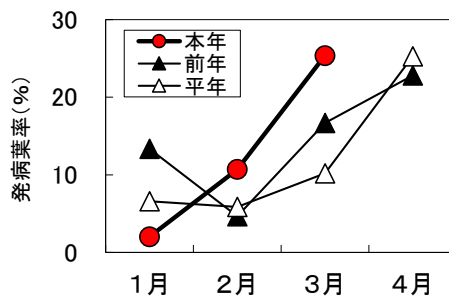


図4 キュウリべと病の発生推移

表1 3月の巡回調査結果と4月の病害発生予想

	3月調査値（平年値）	4月予報
トマト灰色かび病	発病株率 10.0% (11.4%)	やや多
ナス灰色かび病	発病株率 7.2% (0.7%)	多
ナスすすかび病	発病株率 48.0% (36.2%)	やや多
キュウリべと病	発病株率 25.3% (10.2%)	多

(2) 病害虫防除員からの報告によると、3月時点で、トマト葉かび病、ナス灰色かび病、キュウリべと病、キュウリ菌核病、スイカ菌核病、メロンつる枯病、イチゴ灰色かび病が、一部地域で平年比やや多の発生状況であった(表2)。

表2 防除員の報告による3月時点の病害発生状況(抜粋)

	熊本	宇城	上益城	玉名	鹿本	八代	球磨
冬春トマト 葉かび病	やや多	-	-	並	-	並	-
冬春ナス 灰色かび病	並	-	やや多	並	-	-	-
冬春キュウリ ベと病	-	やや多	-	-	-	-	-
冬春キュウリ 菌核病	-	やや多	-	-	-	-	-
スイカ 菌核病	やや多	-	やや多	-	並	-	-
メロン つる枯病	並	-	-	-	-	並	やや多
イチゴ 灰色かび病	-	やや多	-	並	-	並	-

- : 報告対象外

2 今後の発生予想

福岡管区気象台が3月28日に発表した九州北部地方の1ヶ月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いまたは平年並の予想であり、地上部病害の発生・拡大に好適な高温・多湿条件が続くと考えられる。

3 防除対策等

- (1) 過繁茂を避け、通風採光を良くする。降雨後は積極的に換気を図り、多湿を避ける。
- (2) 病害が多発してからの防除は困難となるため、天気予報に留意し発生初期から重点的に予防防除を行う。
- (3) 曇雨天で薬液が乾きにくい場合は、くん煙剤を選択する。
- (4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。
- (5) 発病葉、発病果や被害残さは伝染源となるので、早期に除去し、ほ場外に持ち出し処分する。また、薬害や生理障害により枯死した葉も伝染源となる恐れがあるため適正に処分する。

<p>熊本県病害虫防除所 (農業研究センター 生産環境研究所内) 担当：福岡、江口 TEL : 096-248-6490</p>
--